

The way is open where there is a will

～意志あるところに道は開ける～

キャリア教育部通信 夏休み号（学校理解号）

令和4年8月1日

中学生の皆さんへ

キャリア教育部

夏休みに入り1週間以上が経ちました。今回は、学校選びの参考にしてほしいと考え、つばさ総合高校を理解してもらうために学校案内をもとにまとめました。学校案内は、HPから見られます。

1. つばさ総合高校は、こんな生徒に来てほしいと考えています。

将来への夢をすでに描いている人 将来の夢を探っている人 つばさ総合高校で自分を磨き、夢の実現に近づきましょう！（p.2の校長あいさつより）

そして、偏差値教育ではない、生徒自身の夢の実現に向けて、進学等をする生徒を育てます。

2. つばさ総合高校で身につけてほしい力は？

つばさスキルです（p.3～4）。厳しい社会を生き抜くのに必要な力です。

主体性・創造力・表現力・コミュニケーションスキル・傾聴力・批判的思考力

入学した際は、すべての活動の中で「つばさスキル」を身につけようと意識することが重要です。

3. 総合学科教育の特徴の一つであるキャリア教育の流れを理解しよう！

基本的な考え方は、「**生きる道は自分で決める 他人に頼らない**」です。

流れは以下の通りです。（p.3～5）

産業社会と人間（1年次）（自分の目標を持つ）

自分の目標を持つことができるようにガイドする科目です。

自分って何？ 社会はどう動いているの？ その中で職業や仕事はどうなっているの？

しっかり調べて、自分の目標を明確にしましょう。

科目選択（2・3年次）（途中で変わってもよいので、進路希望を決める）

2・3年次のほとんどの科目を自分の進路希望や興味・関心に応じて5つの系列に分けられた多様な科目から選択し、「自分だけの時間割」を作って学習します。

人間と社会（2年次） 総合的な探究の時間（3年次）（調べ学習ではなく、論文を仕上げる）

何を大切にして、どのように生き、そしてどのようにして幸せな世の中にするかを考えます。その上で、一人一人が研究テーマを設定、探究活動を通して課題解決に取り組みます。

4. 卒業生の声をしっかり読んでください。(p. 7～8)

進学希望ややりたい・やりたいことをもとに、選択科目を選んでいることが分かります。

専門科目が設置されている良さや科目選択の考え方・本校の仕組みの良さが分かります。

国際・コミュニケーション系列の卒業生の声は、入学してから進みたい道を見つけた例です。

自分だけの時間割を作って、夢の実現に近づくことも分かります。

普通科とは何が違うのかもよく分かります。

進路先 (p. 11～12) はあくまで結果です。在校生・卒業生が何を考え、どう生きているのかを授業公開・学校説明会等でしっかり見てください。

偏差値ではなく、総合学科を理解して、その上で本校を選んでもらえたらとても嬉しいです。普通科とは違う育ち方があって良いのです。そして、総合学科で培った力を社会で発揮しよう！立派に巣立ってほしいという気持ちで、厳しくも優しく教育活動を行っています。